

津市立ハッ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 1. 12 NO 50

崩れたケーキから豪華なケーキへ



昨年末、某百貨店から届いたケーキが崩れていたとネットやテレビのニュースで何度も目にしました。注文された方が、届いたケーキを見て悲しい・腹立たしいなどの気持ちになることは自然であると思います。しかし、ネット上には関係のない人までもが百貨店やケーキを監修した職人に向けて攻撃をされていて、現代の恐ろしさを改めて感じました。そんな中、ケーキを注文したある父親が崩れたケーキを3歳の子どもたちに飾りつけをさせて豪華なケーキによみがえらせたと紹介されていました。届いたケーキを前に大人が店や職員の悪口を言っているのを子どもが聞くのではなく、ケーキが崩れている、そのことで悲しい思いをした子どもの気持ちを受け止めながら、発想の転換をし、子どもとともに崩れたケーキを豪華なケーキへと変身させていったこの親はすてきな対応をされたと感じさせられました。私たちは予期せぬことに出くわした際、なかなか冷静になることができず、誰かを攻撃してしまうことで心のバランスを取ろうとしてしまいます。今回のニュースは年末・年始、何かといいニュースが少ない中で少し心がほっとするニュースであったとともに、発想の転換力を少しでも見習っていきたいと思いました(写真は“X“旧ツイッターより)

体育時におけるマスクの対応について…

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行された後、マスクの着用については文部科学省の方針に準じ、県・市、学校は対応をしています。具体的には、体育のみならず通常の授業においてもマスクの着用は原則として必要なく、むしろ体育時においては危険であるため、外すように声をかけてきました。しかしながら、いまだ新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等の感染が報告されており、その予防のため、また、精神的に不安であるとの理由からマスクを着用している児童については強制的に外させることは行っておりません。今後もこの方針で進めていきますが、先日、他府県で体育時にマスクをしていて心不全で児童が亡くなる(因果関係は不明)という事故が発生しました。「どうしても外させてほしい」ということでありましたらお子様とお話をさせていただくとともに学校までお知らせをお願いします。